

近藤邦明、槌田 敦

投稿論文についてお世話になっております。

この度、2度目の査読コメントにおいて、査読者両氏に改善が見られたとの評価をいただき感謝しています。現在、この2度目の査読コメントに応える作業を始めております。

ところで、この論文は、事実に関する前半部分と著者の意見に関する後半部分で構成されています。この前半部分は第2稿において査読者両氏にほぼ認めていただけたと了解しています。

問題は後半です。意見の違いは当然あり、これは発表後に会員相互の討論とすることを前提にするとしても、私共の意見が荒唐無稽ではなく、「そのような意見も有り得る」ということを査読者両氏に認めていただく必要があります。そのためには、表現をより丁寧にする必要があると考えております。そこで、お認めいただいた前半と問題のある後半を分けて、2部作といたしたいと考えます。

前半部分について、分割した論文(I)とこれに関連する査読意見に対する回答および英文要約を同封いたします(注)。この前半は「事実の速報」という意味もあり、できるだけ早く印刷していただくよう切望いたします。

後半部分(II)については、指定された必読文献を読み、また追加すべき論文を探して読み、そして表現の工夫などのため、提出まで多少の時間をいただきたく存じます。

(注)図面(第1~6図)については、改定稿で提出したものと同じですので省きました。

連絡先

槌田 敦
横浜市緑区寺山町524
FAX 045-935-2141

査読A氏のコメントについて

1)「図4は必要がない」について

図4は、長期的傾向を除くことなく、気温とCO₂濃度の関係を論ずるために用いた分析方法です。そして、この図4を注意深く読み取ったからこそ、他の人々が考えつかなかった図5を得ることができたと思っています。図4はそのことを示すためにも必要と考えています。

その他のA氏のコメントについては、論文(Ⅱ)提出時に回答します。

査読B氏のコメントについて

(1)「気象学者の議論」について

本文において書き直しました。

(2)「河宮による解説」について

河宮論文をそのまま引用しました(修飾語は除く)。

(3)「阿部の推測」について

物理学会誌での議論は除きました。

(11)(12)「文献脱落、誤記」

ご指摘ありがとうございました。

その他のB氏のコメントについては、論文(Ⅱ)提出時に回答いたします。